

令和4年6月28日

令和4年
第2回野洲市議会定例会
意見書

野洲市議会

意見書第1号

化学物質過敏症の原因解明を目指す研究の加速を求める意見書（案）

上記の意見書を提出する。

令和4年6月28日

提出者	野洲市議会議員	東郷	克己
賛成者	野洲市議会議員	田中	陽介
賛成者	野洲市議会議員	木下	伸一
賛成者	野洲市議会議員	津村	俊二
賛成者	野洲市議会議員	山崎	敦志
賛成者	野洲市議会議員	橋	俊明
賛成者	野洲市議会議員	岩井	智恵子

化学物質過敏症の原因解明を目指す研究の加速を求める 意見書（案）

化学物質過敏症は、「香害」とも称され近年全国で問題となっている。本市議会においても令和3年に取り上げられた他、本年2月28日には参議院予算委員会において取り上げられている。

参議院予算委員会での杉久武委員の質問に対し、後藤茂之厚生労働大臣は「香料として使用される微量な化学物質により、頭痛や吐き気等、様々な症状を訴える方がいると承知」、「現時点では、どのように化学物質が関与しているか、どのような体内の変化が症状を引き起こすかなど、メカニズムに未解明な部分が多い」と現状を説明した上で、「厚生労働科学研究において、微量な化学物質等により頭痛や吐き気等の多様な症状を来す病態の解明に関する研究が進められている」と答弁され、さらに厚生労働省として、こうした研究の支援等も通じ、科学的な知見の収集等に取り組む旨表明されている。

野洲市では、「化学物質過敏症をご存知ですか」との記事を野洲市ホームページに掲載している他、学校や園などにおいては保護者向け保健便り等を活用し周知に努めているところであるが、この問題の抜本的解決のためには、原因物質と発症のメカニズムの解明が不可欠である。よって国においては、国民の健康を守るため化学物質過敏症の原因解明に向けた研究を加速されることを求める。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和4年6月28日

滋賀県野洲議会議長 荒川 泰宏

衆議院議長	細田 博之
参議院議長	山東 昭子
内閣総理大臣	岸田 文雄
厚生労働大臣	後藤 茂之